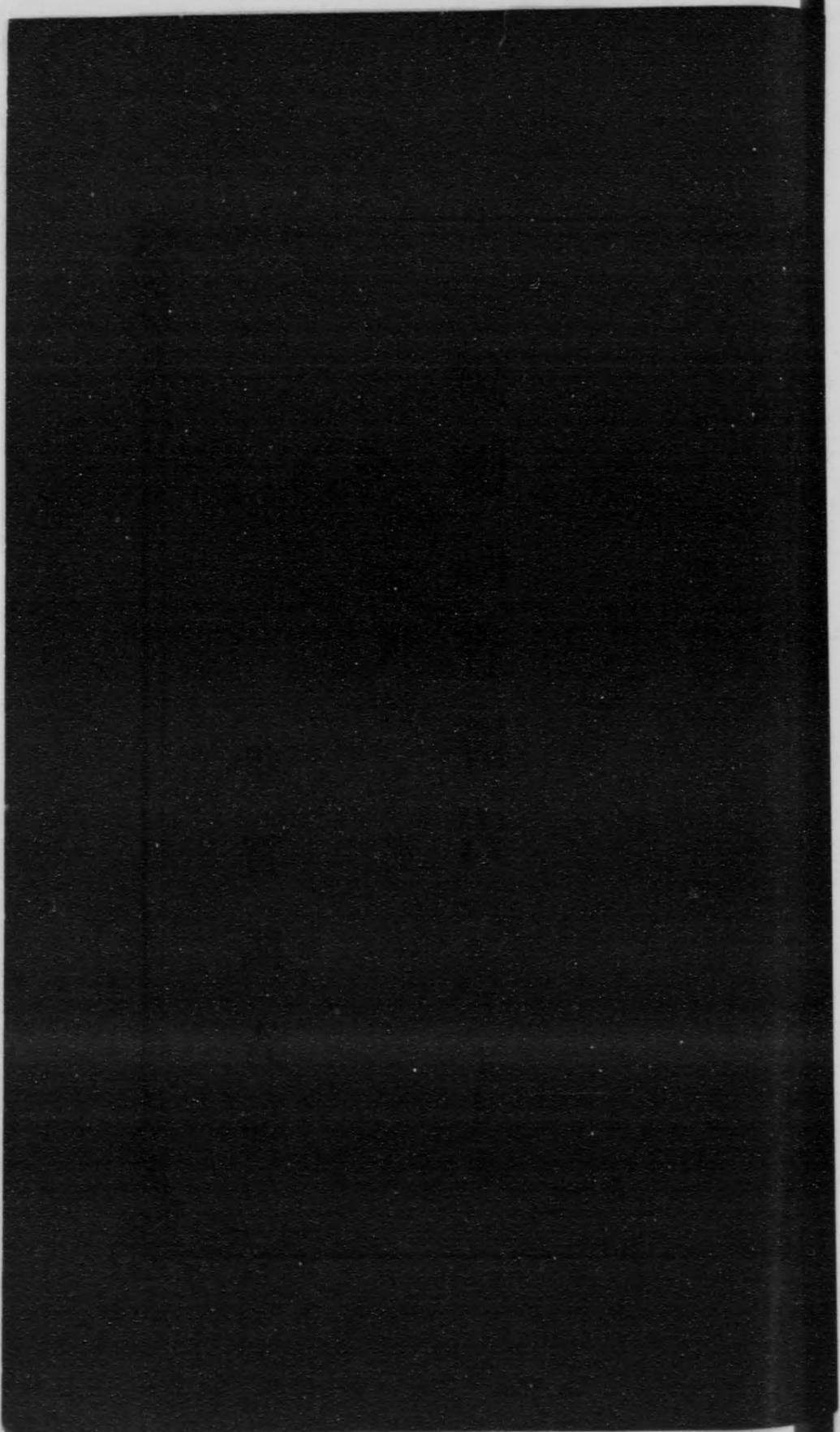
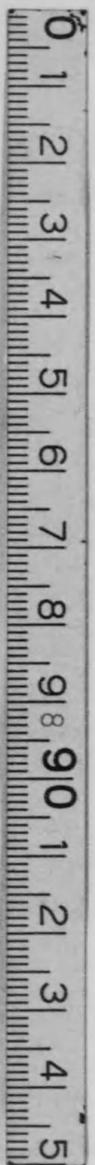


始



大正十四年八月

鑛物調查報告 第三十五號



北海道之部

地質調查所

鑛物調査報告 第三十五號

目次

天鹽國留萌郡小平藥川北部炭田調査報文



大正
15. 2. 18
内交

天鹽國留萌郡小平藥川北部炭田調査報文

天鹽國留萌郡小平藥川北部炭田調査報文

目次

第一章	位置及交通	一頁
第二章	地形	二頁
第三章	地質	三頁
甲	白堊紀層	四頁
(一)	頁岩層	四頁
(二)	變岩層	五頁
乙	第三紀層	五頁
(一)	砂岩頁岩互層(含炭層)	五頁
(二)	頁岩層	六頁

(三)	砂岩頁岩互層	七頁
(四)	頁岩疊岩互層	七頁
(五)	板狀砂岩頁岩互層	八頁
(六)	含動物化石頁岩層	八頁
(七)	疊岩砂岩頁岩互層	九頁
丙	第四紀層	一〇頁
(一)	塔段堆積層	一〇頁
(二)	沖積層	一〇頁
第四章	地質構造	一〇頁
第五章	石炭	一二頁
(一)	「サンバラマブ」區域	一三頁
(二)	「サンケシヨーマブ」上流區域	一四頁
(三)	「サンケシヨーマブ」下流區域	一五頁

(四)	「カムイハッタラ」區域	一九頁
(五)	「ソウウシユペツ」區域	二二頁
(六)	鷺ノ巢澤區域	二四頁
炭質		二六頁
炭量		三五頁
第六章	結章	四二頁

天鹽國留萌郡小平藥川北部炭田調査報文

農商務技手

六角兵吉

大正十一年八月命ニ依リ北海道天鹽國留萌郡小平藥村ニ出張シ同月中旬ヨリ十一月中旬ニ至ル約百日間ニ於テ小平藥川北部炭田ノ調査ニ從事セリ、茲ニ其結果ヲ報告ス

第一章 位置及交通

調査區域ハ明治四十四年山根技師ノ豫察調査ニ從事シタルトコロニシテ(鑛物調査報告第十號參照)天鹽國留萌郡小平藥村ニ屬シ小平藥川北部ノ支流上、オトイチセコロ、鷲ノ巢澤、ソーウシュベツ、サンケシヨーマブ及サンバラマブ等ノ流域ヲ包括シ南北約二里、東西約三里半ニ互リ面積七十八・五平方基米ヲ占メ南部ハ小平藥川ヲ境界トシテ小平藥川南部炭田(鑛物調査報告第三十二號參照)ニ接続ス

調査区域内ニ於テハ小平薬川河口ヨリ本流ノ北側ニ沿ヒテ東ニ通スル車道アルモ「ソーウシュベツ」吐口ヨリハ車行困難トナリ「サンケシヨーマブ」吐口以東ハ運搬ハ馬背ニ據ルノ他ナク、上「オトイチセコロ」ノ吐口ヨリ約二十町、一線ノ澤及三線ノ澤ノ吐口ヨリ約十町餘ノ開墾道路ハ僅カニ人馬ヲ通スルノミ、小平薬川ハ其水流緩ナレトモ屈曲甚シク且水淺ク舟楫ノ便ナシ

留萌町ヨリ調査区域内ノ主要ナル地點ニ到ル里程次ノ如シ

留萌町	小平薬川	上ノイチセコロ	養ノ原	カニノハ	カニノハ	カニノハ	カニノハ
5. 22	3. 7	0. 27	1. 18	0. 17	0. 9	1. 18	1. 13
6. 13	3. 34	5. 16	5. 33	2. 26	2. 8	2. 17	2. 17
7. 31	5. 16	2. 9	2. 9	2. 8	2. 8	2. 8	2. 8
8. 12	5. 33	2. 26	1. 35	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26
8. 21	6. 6	2. 35	2. 35	2. 35	2. 35	2. 35	2. 35
9. 30	7. 15	4. 8	2. 17	1. 35	1. 18	1. 18	1. 18

第一章 地形

調査区域ノ南半ハ丘陵性山地ナルモ北半ニハ東西ニ走レル山脈アリテ一般ニ北部ニ高ク北東隅ニ高サ五百六十七米ノ大天狗山聳立ス、本山脈ハ漸次南部ニ陵夷シテ丘陵性山地ニ移ルモ大天狗山ヨリ分岐シテ区域ノ南部「サンケシヨーマブ」吐口ニ互レル山脈ハ峻嶮ニシテ高サ三百七十六米ノ天狗山屹立ス

塔段地ハ小平薬川本流ニ沿ヒテ良ク發達シ河床ヨリ高サ五米乃至十五米ニ達ス河流ハ何レモ北部ニ發源シ南流シテ小平薬川ニ注ク、其主ナルモノヲ東方ヨリ列擧スレハ「サンバラマブ」、「ボロサンウトロマブ」、「サンケシヨーマブ」、「カムイハッタラ」、「ソーウシュベツ」、「三線ノ澤」、「一線ノ澤」、「二十五線ノ澤」、「鷺ノ巢澤」及上「オトイチセコロ」ナリトシ上流ニハ瀑布多ク殊ニ含動物化石頁岩層ヨリ蟹岩層ニ移ル處ニ於テ著シ

第三章 地質

調査区域内ノ地質ヲ次ノ如ク區別ス

- 甲 白堊紀層
- (一) 頁岩層

乙 第三紀層

(二)

疊岩層

(一) 砂岩頁岩互層(含炭層)

(二) 頁岩層

(三) 砂岩頁岩互層

(四) 頁岩疊岩互層

(五) 板狀砂岩頁岩互層

(六) 含動物化石頁岩層

(七) 疊岩砂岩頁岩互層

丙 第四紀層

(一) 塔段堆積層

(二) 沖積層

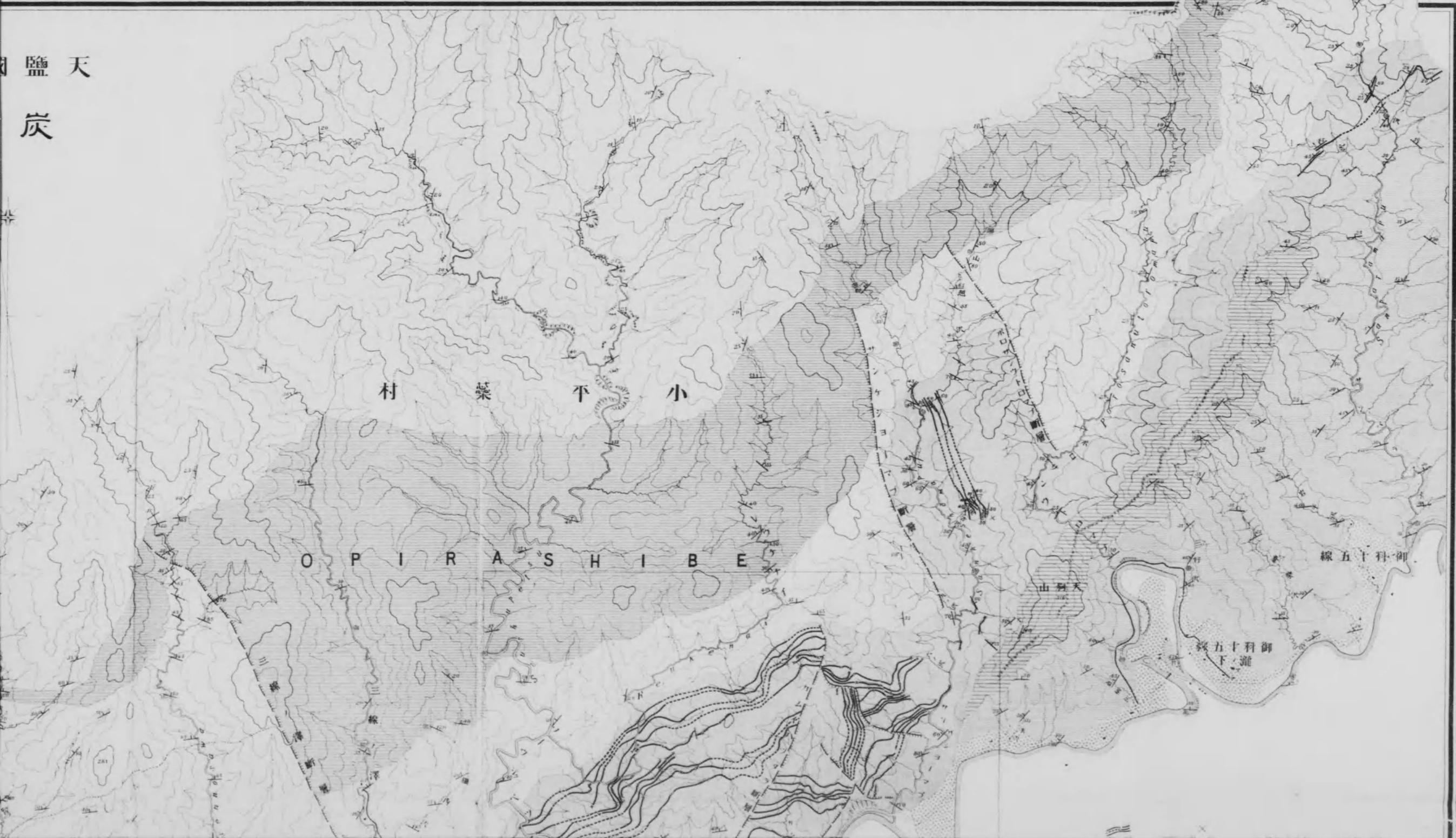
甲 白堊紀層

(一) 頁岩層

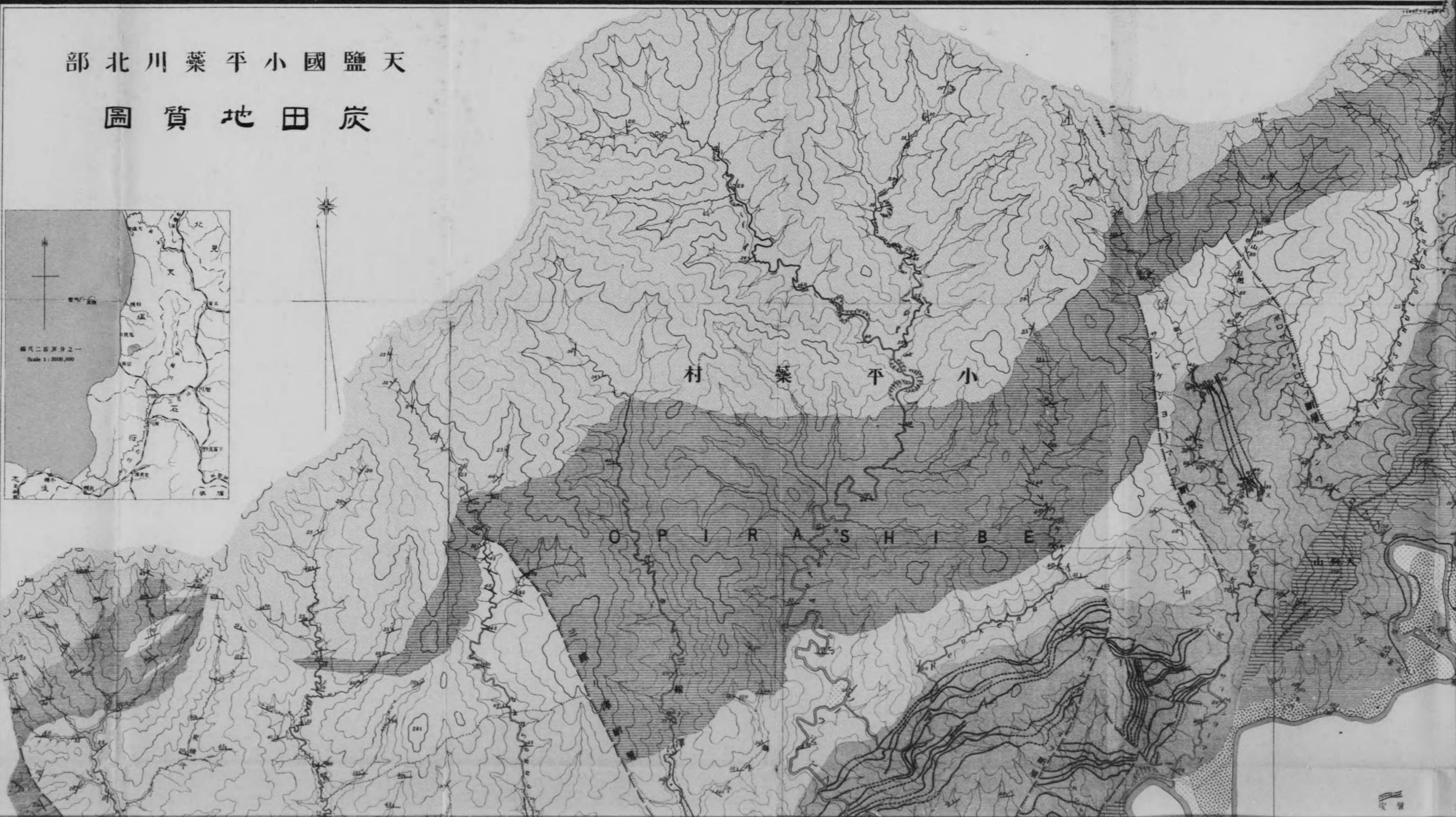
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

第一版

天鹽
炭



天鹽國小平藁川北部
炭田地質圖

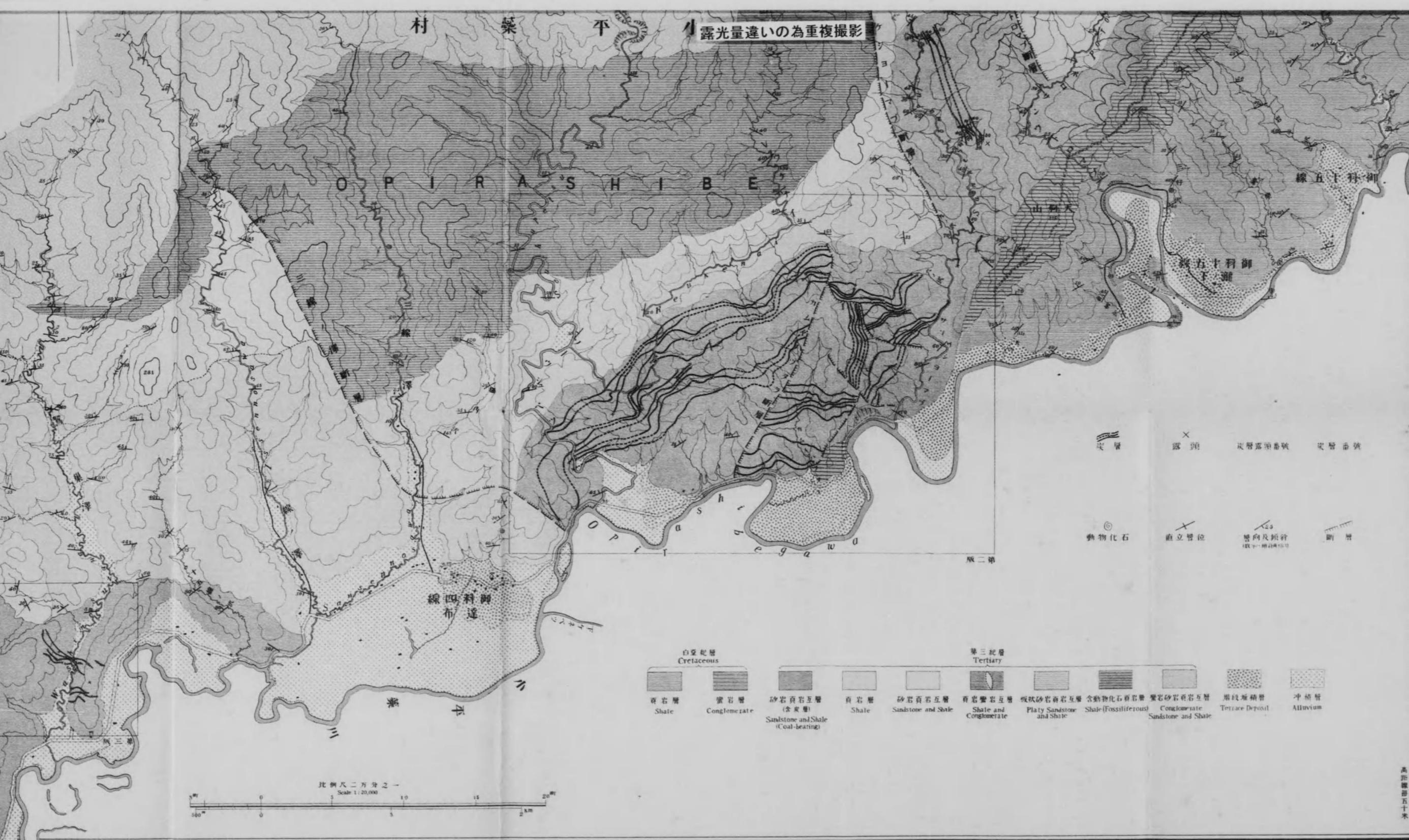


天鹽國小平薬川北部

炭田地質圖

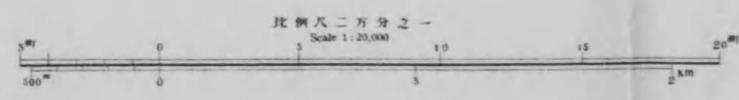


天鹽山

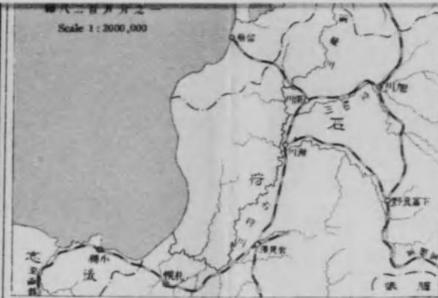


版二第

白垩紀層 Cretaceous				第三紀層 Tertiary						
頁岩層 Shale	礫岩層 Conglomerate	砂岩頁岩互層 (含炭層) Sandstone and Shale (Coal-bearing)	頁岩層 Shale	砂岩頁岩互層 Sandstone and Shale	頁岩礫岩互層 Shale and Conglomerate	板狀砂岩頁岩互層 Platy Sandstone and Shale	含動物化石頁岩層 Shale (Fossiliferous)	礫岩砂岩頁岩互層 Conglomerate Sandstone and Shale	階地堆積層 Terrace Deposit	沖積層 Alluvium



高差標高五十米



露光量違いの為重複撮影

小 平 菜

O P I R A S H I B E

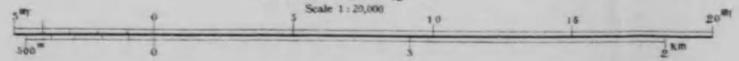
O p i t a s h i c g a w u

線四村御
布 邊

菜 平

線九十
菜 平

比例尺二方分之一
Scale 1:20,000



白堊紀層 Cretaceous			第三紀層 Tertiary			
		砂岩頁岩互層 (含炭層)				
頁岩層 Shale	礫岩層 Conglomerate	砂岩頁岩互層 (含炭層) Sandstone and Shale (Coal-bearing)	頁岩層 Shale	砂岩頁岩互層 Sandstone and Shale	頁岩礫岩互層 Shale and Conglomerate	板狀砂岩頁岩互層 Platy Sandstone and Shale
						含動物化石 Shale (Fossil)

動物化

版二第

Scale 1:200,000

露光量違いの為重複撮影
↑

小 平 菜

O P I R A S H I B E

大山

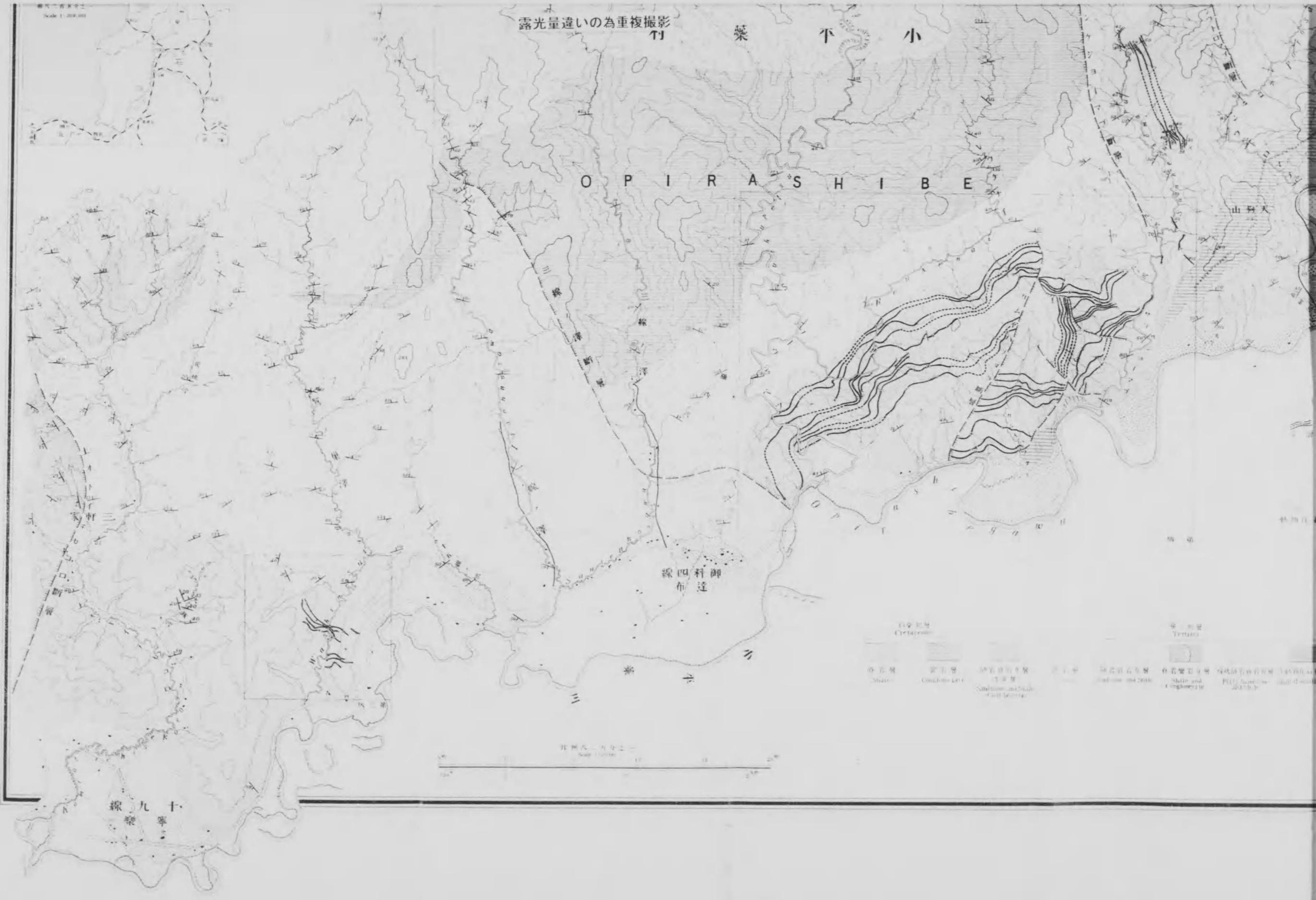
御 村 四 線
布 達

菜 平

十 九 線
菜 平

Scale 1:200,000

白雲地層 Cretaceous	第三紀層 Tertiary	石炭地層 Carboniferous	白堊地層 Cretaceous	石炭地層 Carboniferous	白堊地層 Cretaceous
砂岩 Sandstone	頁岩 Shale	砂岩 Sandstone	頁岩 Shale	砂岩 Sandstone	頁岩 Shale
砂岩 Sandstone	頁岩 Shale	砂岩 Sandstone	頁岩 Shale	砂岩 Sandstone	頁岩 Shale



本層ハ「サンバラマブ」ボロサンウトロマブノ下流、岩手澤、神樂澤、三好澤、眞柄澤及山本澤等ニ露出シ主ニ頁岩ヨリ成リ時ニ極メテ薄キ砂岩ヲ介有シ泥灰岩團球ヲ含有スルコトアリ、頁岩ハ暗灰色砂質ニシテ風化スル時ハ不規則ナル小片ニ破碎シ白色石灰岩ノ細脈ニ貫カル、コトアリ、泥灰岩團球中ニハ多數ノ「アムモン」介、イノセラムス等ヲ埋藏ス

(二) 蟹岩層

本層ハ岩手澤、神樂澤、三好澤及山本澤ノ最上流地方、ボロサンウトロマブ下流地方及中ノ澤、「カムイハッタラ」兩河口附近ニ露出シ蟹岩ヨリ成ル、蟹岩ハ灰綠色ヲ呈ス、礫ハ胡桃實大乃至拳大ノ古生層ノ粘板岩、硬砂岩、硅岩等ニシテ灰綠色ノ砂ヲ以テ堅ク膠結セラル

乙 第三紀層

第三紀層ハ調査區域内ニ最モ廣ク發達シ其最下部ニ位スル砂岩頁岩互層中ニハ石炭ヲ埋藏ス

(一) 砂岩頁岩互層 (含炭層)

本層ハ調査區域ノ南部ニ敷衍ス、即「サンバラマブ」^六「ボロサンウトロマブ」中流地方ヨリ「サンケシヨーマブ」^六「ソーウシユベツ」下流地方ニ互リテ露出シ又鷺ノ巢澤及上「オトイチセコロ」下流ニ露出ス

本層ハ主ニ砂岩ヨリ成リ石炭ヲ埋藏シ「サンケシヨーマブ」及「ソーウシユベツ」地方ニ於テハ頁岩及菲薄ナル蟹岩ヲ挟有ス、砂岩ハ灰白色中粒ニシテ屢硬キ團塊ヲ含有シ又時ニ炭質物ヲ挟有シテ縞狀ヲ呈スルコトアリ、頁岩ハ青灰色堅硬ニシテ屢泥灰岩團塊ヲ含有ス、蟹岩ハ灰白色ヲ呈ス、礫ハ小豆大乃至胡桃實大ノ古期ノ粘板岩及硅岩等ニシテ灰白色ノ砂ニテ膠結セラレタルモノナリ

本層ハ其最上部ニ *Cyrena* sp. *Venus* sp. *Cardium* sp. 等ノ介化石ヲ埋藏ス

(二) 頁岩層

本層ハ「ボロサンウトロマブ」^六「サンケシヨーマブ」^六「レウケナイ」中流地方及三線ノ澤下流附近ヨリ鷺ノ巢澤中流地方ニ互リテ露出シ前者ハ二斷層ニヨリテ三ニ區分セラレ

本層ハ頁岩ヨリ成ル、頁岩ハ灰白色堅硬ニシテ往々胡桃實大ノ泥灰岩球ヲ含有シ

風化スレハ赤褐色ニ變シテ弛解ス、「レウケナイ」中流地方ニ露出スルモノニハ保存不完全ノ介化石ヲ埋藏ス

(三) 砂岩頁岩互層

本層ハ「サンバラマブ」上流ヨリ「ボロサンウトロマブ」及「サンケシヨーマブ」中流ニ互レル區域、「ソーウシユベツ」中流附近ヨリ三線ノ澤ノ下流ニ互レル區域、一線ノ澤中流地方ヨリ鷺ノ巢澤及上「オトイチセコロ」中流ニ互レル區域ニ露出ス

本層ハ主ニ砂岩ヨリ成リ鷺ノ巢澤附近ニ於テハ頁岩ヲ挟有ス、砂岩ハ綠灰色或ハ淡褐色中粒ニシテ柔軟ナリ、屢炭質物ヲ挟有シテ縞狀ヲ呈ス、頁岩ハ著シク砂質ニシテ灰白色ヲ呈ス、「サンバラマブ」^六「サンケシヨーマブ」^六及「ソーウシユベツ」ニ露出スル砂岩中ニハ保存不完全ノ介化石ヲ埋藏ス

(四) 頁岩蟹岩互層

本層ハ調査區域西境ノ山嶺ヨリ上「オトイチセコロ」上流地方ニ互リテ露出ス
本層ハ主ニ頁岩ヨリ成リ薄キ蟹岩ヲ挟有ス、頁岩ハ綠灰色砂質ニシテ層理明瞭ナリ、蟹岩ハ暗灰色ヲ呈シ礫ハ大豆大ノ古期ノ粘板岩及硅岩等ニシテ暗灰色ノ砂ニ

テ膠結セラレタルモノナリ

(五) 板状砂岩頁岩互層

本層ハ上「オトイチセコロ」最上流ノ小地域ニ露出ス
本層ハ砂岩頁岩ノ互層ヨリ成リ板状ニ剝離ス、砂岩ハ中粒堅硬ニシテ帶褐緑灰色ヲ呈ス、頁岩ハ暗灰色ヲ呈シ不規則ノ小片ニ破碎ス

(六) 含動物化石頁岩層

本層ハ「サンバラマブ」、「ボロサンウトロマブ」及「サンケシヨーマブ」上流地方ヨリ「レウケナイ」、「ソーウシユベツ」及三線ノ澤中流地方ヲ經、鷺ノ巢澤中流地方ニ互リテ露出ス、「ソーウシユベツ」及三線ノ澤ニ於テ其厚サ最モ大ニシテ千米以上ニ達スレトモ三線ノ澤斷層ニヨリテ北方ニ轉位シ一線ノ澤ニ至リテ急ニ其露出、狭ク厚サ約二百米トナリ其西方鷺ノ巢澤中流地方ニ及ヒテ尖滅ス
本層ハ主ニ頁岩ヨリ成リ泥灰岩ヲ包有シ稀ニ砂岩ノ薄層ヲ挾有セリ、頁岩ハ濃灰色柔軟ニシテ不規則ノ大片ニ破碎スル性ヲ有シ層理明瞭ナラス、泥灰岩ハ球狀或ハ紡錘狀ヲナスモノ多シ、砂岩ハ淡褐色細粒ニシテ堅硬ナリ

本層中ニハ *Nucula* sp. *Turricella* *Wakana* Yok. *Leola* sp. *Yoldia* sp. *Cardium* sp. *Peecten* sp.

Tapes sp. *Venericardia* sp. 等稍多數ノ介化石ヲ埋藏ス

(七) 蟹岩砂岩頁岩互層

本層ハ調査區域北部ノ山地ニ露出ス
本層ハ蟹岩、砂岩及頁岩ノ互層ヨリ成リ就中蟹岩最モ厚シ、蟹岩ハ外觀暗灰色ヲ呈シ其礫ハ普通胡桃實大乃至拳大ニシテ稍稜角アル粘板岩、硬砂岩、輝綠凝灰岩、硅岩等ノ古期水成岩並ニ是等ノ接觸變質岩ニシテ屢花崗岩及石灰岩ヲ混交シ、時ニ第三紀ノ砂岩、頁岩若クハ其互層ヨリ成レル岩塊ヲ包藏シ其大ナルモノハ直徑十數尺ニ及フモノ少ナカラス、是等ノ礫ハ暗灰色ノ砂ニテ堅ク膠結セラル、砂岩ハ灰色中粒ニシテ板状ニ剝離スルモノト暗灰綠色、粗粒ニシテ層理明瞭ナラサルモノトノ二種アリテ共ニ堅硬ナリ、後者ハ時ニ蟹岩ニ移ルコトアリ、砂岩中ニハ屢石灰質砂岩ノ團塊ヲ包藏ス、頁岩ハ一般ニ暗灰色ナルモ淡灰色ヲ呈スル菲薄ナル部分アリテ縞狀ヲ呈スルコトアリ、岩質ハ下位ノ諸層ニ於ケルモノニ比シ堅硬ニシテ層理明カニ且殆ント泥灰岩塊ヲ含有スルコトナシ

丙 第四紀層

(一) 塔段堆積層

塔段堆積層ハ小平薬川本流ニ沿ヒテ良ク發達シ寧樂、達布地方、「ソーウシユベツ」、「カ
ムイハッタラ」、「サンケシヨーマブ」等ノ河口附近及瀧ノ下、御料十五線等ノ地方ニ河
床ヨリ高サ五米乃至十五米ノ塔段地ヲ構成ス
本層ハ主ニ礫層ヨリ成リ時ニ砂層及粘土層ヲ挟有ス、蓋シ洪積期ノ沈積ニ係ルモ
ノナラン

(二) 冲積層

冲積層ハ河流ノ沿岸處々ニ平地ヲ構成シ礫、砂及粘土ノ累層ヨリ成ル

第四章 地質構造

白堊紀層ハ概ネ東西ニ走リ北方ニ三十度内外ニ傾斜スルモ時ニ二十度ノ傾斜ヲ
示シ時ニ七十五度ノ急傾斜ヲナス處アリ
第三紀砂岩頁岩互層(含炭層)ハ「サンバラマブ」、「ボロサンウトロマブ」中流地方ニ於テ、

白堊紀層ヲ整合ニ被覆スルカ如ク一般ニ其構造甚タ複雑ナルモ圖ニ示セル炭層
ノ露頭ニヨリテ略其層向傾斜ヲ知ルコトヲ得ヘシ

(二) 頁岩層及 (三) 砂岩頁岩互層ハ共ニ概ネ東西ニ走リ北方ニ四十度内外ニ傾斜ス (四)
頁岩疊岩互層及 (五) 板狀砂岩頁岩互層亦共ニ概ネ東西ニ走リ北方ニ三十五度内外
ニ傾斜スレトモ頁岩疊岩互層ハ調査區域ノ西端ニ於テ南北ニ轉位シ西方ニ三十
度内外ニ傾斜スルトコロアリ、想フニ此間ニ上「オトイチセヨロ」斷層存在スルナラン
含動物化石頁岩層ハ概ネ北東ニ走リ北西ニ四十度内外ニ傾斜ス
疊岩砂岩頁岩互層ハ含動物化石頁岩層板狀砂岩頁岩互層及 (三) 砂岩頁岩互層ヲ不
整合ニ被覆シ概ネ東西ニ走リ北方ニ五度乃至四十度ニ傾斜ス
調査區域ノ主ナル斷層ハ概ネ南北ニ走レル傾斜斷層ニシテ其附近ニ於テハ地層
稍擾亂シ層向ハ南北ニ轉位ス
調査區域ニハ主ナル斷層五條アリ、東方ヨリ列舉スレハ次ノ如シ

- (一) 「ボロサンウトロマブ」斷層
- (二) 「サンケシヨーマブ」斷層

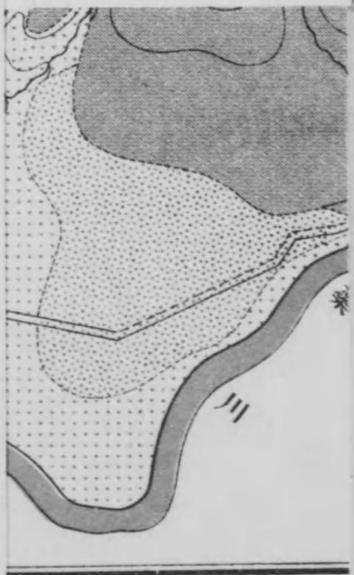
(三) 「カムイハッタラ」断層
 (四) 三線ノ澤断層
 (五) 上「オトイチセコ」断層

以上ノ外向炭層ヲ切斷シテ轉位セシメタル小断層アルコト圖ニ示スカ如シ

第五章 石炭

調査區域内ニ於ケル炭層ハ第三紀最下部ニ位スル砂岩頁岩互層中ニ埋藏セラレ、炭層ハ断層ニヨリ同一ノ炭層恰モ別炭層ナルカ如キ觀ヲ呈シ露頭相互間ノ關係ヲ明カニシ難キモノ少ナカラス、即「ソーウシュベツ」、「サンケシヨーマブ」兩河口間ニ賦存スル炭層ノ如キハ四断層ニ切斷セラレテ其層向ヲ轉位セルコト圖ニ示スカ如シ

本報文中ニ於テ採炭部ト稱スルハ其炭質ニヨリ採取ニ堪フト認メラル、石炭ノ厚サ、石炭部トハ炭質ノ優劣ニ拘ラス石炭全部ノ厚サヲ指シ、炭層ノ厚サトハ夾ミヲモ加算セル厚サヲ云フ



同一炭層ニ於テ炭層ノ厚サ、石炭部ノ厚サ、採炭部ノ厚サハ各露頭ニ於ケル平均ノ厚サヲ記載シタリ、而シテ採炭部二尺ニ充タサル炭層ハ圖上ニ之ヲ省ケルト共ニ本報文ニ記載セス、然レトモ二尺以上ノ厚サヲ有スル炭層ノ縮迫シテ二尺以下トナリ其平均二尺ニ達セサルモノモ炭質ノ良好ナルモノハ特ニ圖中ニ記入シ又本報文ニ記述シタリ

調査區域内ノ石炭賦存區域ヲ便宜上次ノ六區域ニ分ツ

- (一) 「サンバラマブ」區域
- (二) 「サンケショーマブ」上流區域
- (三) 「サンケショーマブ」下流區域
- (四) 「カムイハッタラ」區域
- (五) 「ソーウシュベツ」區域
- (六) 鷺ノ巢澤區域

茲ニ「サンバラマブ」區域ト稱スルハ「サンバラマブ」本流及同支流一ノ澤、二ノ澤流域

ナリトス、本區域ニ埋藏セラル、炭層ニシテ二箇處以上ニ炭層ノ露頭ヲ檢セルモノ三層アリ、即チ次表ノ如シ

一四

炭層番號	露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)	炭層ノ延長(尺)
I	(233)	二・八	二・六	一・六	四〇〇
II	(234) (235)	一・五	九・四	五・一	三、八五〇
III	(237) (238)	二・三	二・三	一・九	五〇〇

(二) 「サンケシヨーマブ」上流區域

茲ニ「サンケシヨーマブ」上流區域ト稱スルハ、「サンケシヨーマブ」二股附近ヨリ同支流佐吉澤附近ニ及フ地域ナリトス、本區域ニ埋藏セラル、炭層ニシテ二箇處以上ニ炭層ノ露頭ヲ檢セルモノ六層アリ、即チ次表ノ如シ
本區域ハ「ボロサンウトロマブ」、「サンケシヨーマブ」兩斷層間ニ介在スルヲ以テ炭層ノ層向南北ナリ

炭層番號	露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)	炭層ノ延長(尺)
------	------	----------	-----------	-----------	----------

VI	V	IV	III	II	I
(230)	(228)	(226)	(224)	(222)	(220)
(231)	(229)	(227)	(225)	(223)	(221)
一・八	一三・〇	六・三	七・六	七・九	一五・三
一・八	一三・〇	六・二	六・一	五・六	四・〇
一・八	一二・〇	五・五	六・一	三・五	四・〇
三、三〇〇	七〇〇	二、九〇〇	三三〇	三一〇〇	五九〇

第二百三十二號露頭ノ炭層ハ其層向ニ之ヲ追跡スルコトヲ得サルヲ以テ關係明カナラサレトモ厚サ五尺アリ探求ノ要アリトス

露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)
(232)	五・〇	五・〇	五・〇

(三) 「サンケシヨーマブ」下流區域

茲ニ「サンケシヨーマブ」下流區域ト稱スルハ、「サンケシヨーマブ」支流一ノ澤、二ノ澤、三ノ澤、四ノ澤、五ノ澤、六ノ澤、八ノ澤、十ノ澤流域地方ナリトス、本區域ニ埋藏セラル

一五

III'	II'	I'	XV	XIV	XIII	XII	XI	X	IX	VIII
(178)	(174)	(169)	(164)	(161)	(157)	(154)	(151)	(148)	(117)	(143)
(179)	(175)	(170)	(165)		(158)		(152)			(144)
(180)		(171)	(166)	(162)		(155)	(152)			
(181)	(176)	(172)	(167)		(159)		(153)	(149)	(118)	(145)
(182)	(177)	(173)	(168)	(163)	(160)					
三・五	九・三	四・七	六・〇	九・〇	八・五	五・二	一・二・〇	七・〇	一・〇・〇	五・五
三・〇	九・〇	四・一	五・五	七・二	七・一	四・九	一・〇・九	四・七	一・〇・〇	五・四
三・〇	四・七	三・八	三・九	四・九	七・一	四・九	一・〇・九	三・七	一・〇・〇	四・四
一、二五〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、五〇〇	九〇〇	一、八〇〇	八二〇	八〇〇	一六〇	三三〇	二、一〇〇

VII	VI	V	IV	III	II	I	炭層番號	露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)	炭層ノ延長(尺)
(137)	(134)	(130)		(125)	(121)			(119)				
(138)		(131)	(128)		(122)							
(139)	(135)	(132)		(126)	(123)			(120)				
(140)		(129)										
(141)	(136)	(133)		(127)	(124)							
一五・六	四・二	一・二・八	一・一・〇	四・八	七・一	六・〇						
一三・四	三・八	一・一・三	一・一・〇	三・六	五・二	六・〇						
一一・七	三・八	七・七	二・〇	三・六	五・二	六・〇						
二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、二〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	二、〇〇〇						

ル炭層ニシテ二箇處以上ニ炭層ノ露頭ヲ檢セルモノ二十六層アリ、即チ次表ノ如シ
 本區域ノ炭層ハ斷層ニ切斷セラレテ層向著シク轉位シ一部ハ稍南北トナリ一部ハ稍東北東トナレリ

XVIII	XVII	XVI	VIII'	VII'	VI'	V'	IV'
		(183)		(205)	(201)	(194)	(187)
(213)	(211)	(184)	(209)	(206)	(202)	(195)	(188)
(214)		(185)	(210)	(207)	(203)	(196)	(189)
(215)	(212)	(186)		(208)	(204)	(197)	(190)
						(198)	(191)
						(199)	(192)
						(200)	
三・五	二・九	三・七	七・七	二・七	六・二	二一・四	七・二
三・五	一・九	三・五	五・五	二・三	六・二	一九・八	六・二
三・五	一・四	三・一	四・七	二・三	六・二	一五・二	五・七
二・三〇	五〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	九〇〇	二、七〇〇	三、〇〇〇	二、二〇〇

右ノ外次表ノ諸炭層ハ二尺以上ノ厚サヲ有スレトモ其層向ニ之ヲ追跡スルコト能ハサルヲ以テ關係明カナラス、探求ノ要アルモノトス

露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)
------	----------	-----------	-----------

(219)	(218)	(217)	(216)	(193)	(150)	(133)
三・〇	二・二	八・一	五・五	六・〇	五・五	一三・〇
三・〇	二・二	四・九	五・五	六・〇	五・五	一二・五
三・〇	二・二	四・九	五・五	六・〇	四・五	一一・〇

(四) 「カムイハッタラ」區域

茲ニ「カムイハッタラ」區域ト稱スルハ中ノ澤、カムイハッタラ、山田澤及管野澤地方ノ小地域ナリトス、本區域ニ埋藏セラル、炭層ニシテ二箇處以上ニ炭層ノ露頭ヲ檢セルモノ九層アリ、即チ次表ノ如シ

露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)
(267)	二〇・五	一一・五	一一・五
(266)	一一・〇	一一・〇	一一・〇
(265)	三・〇	三・〇	三・〇
(87)	三八・〇	三〇・〇	三〇・〇
(79)	八・〇	六・〇	六・〇
(56)	三・〇	三・〇	三・〇
(30)	二三・〇	二一・〇	二一・〇

右ノ外次表ノ諸炭層ハ二尺以上ノ厚サヲ有スレトモ其層向ニ之ヲ追跡スルコト能ハサルヲ以テ關係明カナラス、探求ノ要アルモノトス

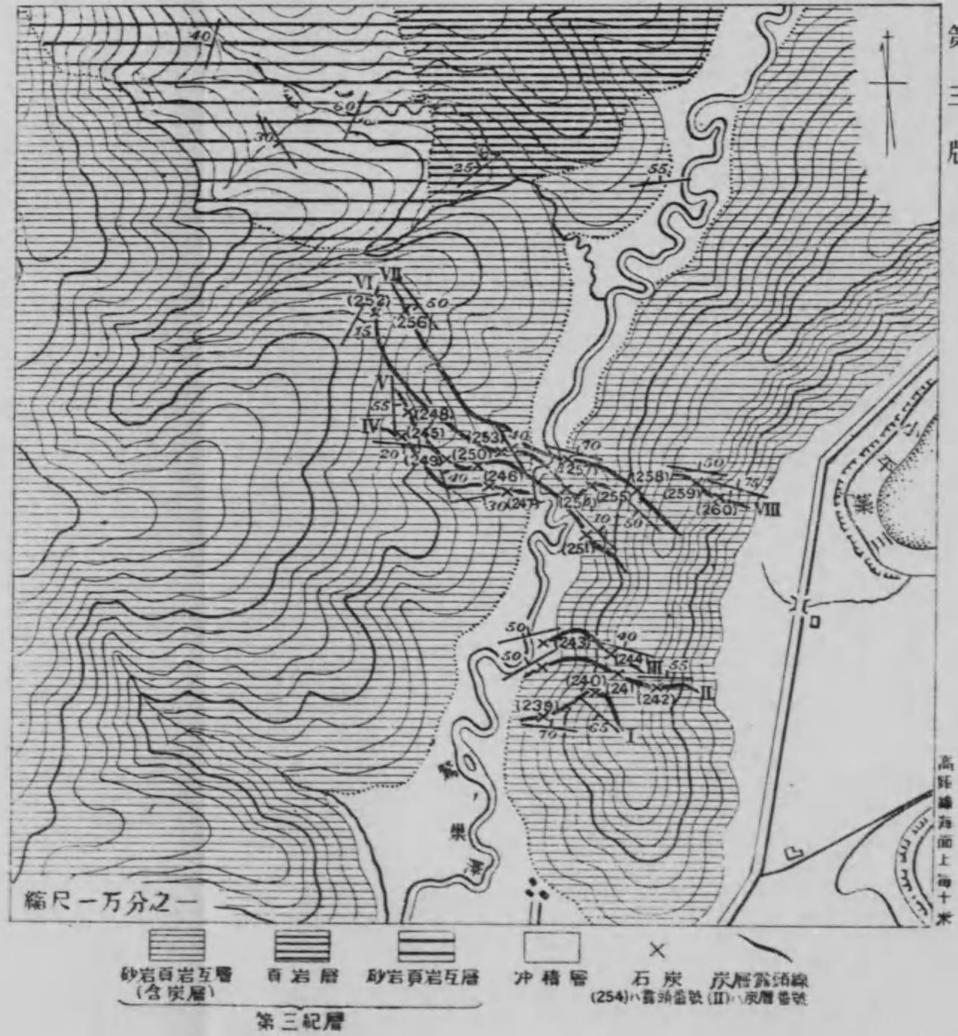
VIII
(80)
(81)
(82)
(83)
(84)
(85)
(86)
五・九
五・八
五・八
五・八
九、〇〇〇
(B)(A)
三、五〇〇〇
五、五〇〇〇

VII	VI	V	XV	XIV	XIII	IV	XII	XI	X	IX
(69)	(62)	(57)				(47)	(43)	(41)	(98)	(39)
(70)	(63)	(58)				(48)				
(71)	(64)	(59)	(113)	(111)	(54)	(49)				
(72)	(65)	(60)				(50)	(44)	(42)	(99)	(40)
(73)	(66)	(61)				(51)				
(74)	(67)	(115)	(114)	(112)	(55)	(52)	(45)	(102)	(100)	(96)
(75)	(68)	(116)				(53)				
(76)						(104)				
(77)						(105)	(46)	(103)	(101)	(97)
(78)						(106)				
						(107)				
						(108)				
						(109)				
						(110)				
三・〇	二・三	八・五	八・四	一二・七	一〇・〇	一四・七	五・四	一五・二	一・八	二二・二
二・六	二・三	六・七	三・九	五・〇	一〇・〇	七・六	五・四	一四・〇	一・八	二二・二
二・三	二・三	六・三	三・九	五・〇	一〇・〇	六・八	五・四	一四・〇	一・八	二〇・八
九、六〇〇	八、〇〇〇	一二、〇〇〇	七六〇	七六〇	一七〇	一〇、六六〇	九〇〇	一、五〇〇	六〇〇	四、〇〇〇
(B)(A)	(B)(A)	(B)(A)				(B)(A)				(B)(A)
二、七〇〇	六、九〇〇	三、六〇〇	四、四〇〇	五、二〇〇	六、八〇〇	四、三六〇				一、二〇〇
										二、八〇〇

鷺ノ巢澤區域

PL.III

第三版



茲ニ鷺ノ巢澤區域ト稱スルハ鷺ノ巢澤下流ノ小地域ナリトス、本區域ニ埋藏セラ
ル、炭層ニシテ二箇處以上ニ炭層ノ露頭ヲ檢セルモノ八層アリ、即チ次表ノ如シ

(六) 鷺ノ巢澤區域

炭層番號	露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	採炭部ノ厚サ(尺)	炭層ノ延長(尺)
I	(239)	二六・九	九・三	五・七	四〇〇
II	(241)	二〇・二	一三・四	九・五	七〇〇
III	(243)	二〇・〇	一八・〇	七・七	四五〇

(38)	(270)	(269)	(268)
一〇・〇	七・三	二・八	一・二〇
一〇・〇	七・〇	二・〇	七・〇
一〇・〇	七・〇	二・〇	七・〇

以上ノ區域ノ外上「オトイチセコロ」支流大塚澤附近數箇處ニ炭層ノ露頭アリ、尙探求ノ要アルモノトス、其主ナルモノ次ノ如シ

VIII	VII	VI	V	IV
(256)	(256)	(252)	(248)	(245)
	(257)	(253)	(249)	(246)
(260)	(258)	(254)	(250)	(247)
		(255)	(251)	
七・一	五・三	五・四	一八・八	三・八
六・八	四・七	四・四	一〇・三	三・八
五・四	三・七	三・四	二・〇	二・八
二五〇	一、五五〇	一、五〇〇	一、二〇〇	七〇〇

露頭番號	炭層ノ厚サ(尺)	石炭部ノ厚サ(尺)	探炭部ノ厚サ(尺)
(263)	一四・九	一四・五	一〇・三
(262)	一三・五	一三・五	一三・〇
(261)	三・〇	三・〇	三・〇

各炭層及露頭ノ石炭ヲ本所分析係ニ於テ分析セシ結果ハ次ノ如シ

二六

(一) 「サンバラマブ」區域

炭層並ニ露頭番號	水分	揮發物	固定炭素	骸炭ノ質	灰	灰ノ色	硫黄	發熱量	比重
I (233)	八・〇〇	四二・九〇	三九・三八	粘結セス	九・七二	黝	二・六六	五七八六	一・四〇〇
II (235)	九・五〇	四二・五二	四五・八八	同	二・一〇	褐	〇・八四	六二一九	一・三四八
III (238)	七・八五	四二・〇八	四一・〇五	同	九・〇二	黝	三・八一	六三一七	一・三四二

(二) 「サンケシヨ」上流區域

炭層並ニ露頭番號	水分	揮發物	固定炭素	骸炭ノ質	灰	灰ノ色	硫黄	發熱量	比重
I (220)	五・九五	三八・六〇	三六・八四	粘結セス	一八・六一	黝白	〇・三〇	五七一八	一・三八八
II (222)	五・〇五	四五・五一	四一・五六	同	七・八八	淡褐	〇・三三	六六一七	一・二九一
III (225)	八・一五	四〇・四〇	四三・五七	同	七・八八	白	〇・二六	五九一〇	一・三五六

(三) 「サンケシヨ」下流區域

炭層並ニ露頭番號	水分	揮發物	固定炭素	骸炭ノ質	灰	灰ノ色	硫黄	發熱量	比重
IV (227)	七・九五	四一・四八	四一・〇八	同	九・四九	同	〇・二八	五八〇八	一・三六〇
V (229)	六・八〇	三八・二九	四二・五五	同	一二・三六	同	〇・三四	五九二一	一・三六〇
VI (231)	一〇・六〇	三四・八四	三二・七九	同	二一・七七	同	〇・二四	四二七一	一・五三六
(232)	四・九〇	三七・九一	三六・九五	同	二〇・二四	同	〇・三三	五六六一	一・四一九

炭層並ニ露頭番號	水分	揮發物	固定炭素	骸炭ノ質	灰	灰ノ色	硫黄	發熱量	比重
I (120)	七・三五	三八・二八	四七・二三	粘結セス	七・一四	淡褐	〇・八二	六一二五	一・三四一
II (124)	一三・六三	三四・八七	四四・九八	同	六・五二	同	〇・二六	五五六六	一・三八五
III (126)	六・一五	三五・五一	四三・五六	同	一四・七八	同	〇・三六	五七八一	一・三九五
IV (129)	七・三五	二二・二七	一八・五三	同	五一・八五	黝白	〇・一五	二七八〇	一・八五六
V (130)	六・四〇	二七・五一	二五・七二	同	四〇・三七	淡褐	〇・三二	三七四〇	一・六八三

二七

	XVIII	XVII	XVI	VIII'	VII'	VI'	V'	IV'	II'	II'	
	(132)	(215)	(212)	(186)	(210)	(207)	(202)	(199)	(191)	(178)	(176)
	八・五〇	六・三〇	七・一五	七・七五	七・〇〇	五・八〇	六・二五	七・三五	七・九〇	一〇・一五	八・五五
	三五・九七	三七・七二	三七・一五	三八・一六	三四・五一	三八・六二	三三・五二	三三・七五	三二・五六	三二・五八	三五・四一
	四一・七〇	四七・〇四	四三・一九	四七・四二	四一・三九	五一・五七	三九・五五	五一・一一	五六・二二	三六・六二	五一・五五
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	一三・八三	八・九四	一二・五一	六・六七	一七・一〇	四・〇一	二〇・六八	七・七九	三・三二	二〇・六五	四・四九
	白	淡褐	白	同	黝白	同	同	同	淡褐	黝白	同
	〇・一八	〇・三五	〇・三三	〇・三〇	〇・三〇	〇・六一	〇・三六	〇・四一	〇・三〇	〇・二七	〇・二五
	五三四五	六三七三	五七七〇	六二九四	五七二九	六六四四	五三一	六二八三	六五二〇	四七〇五	六二八三
	一・四四六	一・三三九	一・三九三	一・三三四	一・四三八	一・二九二	一・四五五	一・三二八	一・三一〇	一・五〇〇	一・三一六

I'	XV	XIV	XIII	XII	XI	X	IX	VIII	VII	VI
(173)	(166)	(161)	(159)	(156)	(151)	(148)	(118)	(144)	(139)	(135)
五・三〇	六・八〇	九・七〇	五・一〇	五・一五	七・九〇	八・六〇	一一・八〇	九・六五	六・〇〇	七・一五
四一・一五	三五・九六	三三・八五	三九・八八	三九・四七	四二・五二	一九・七四	三八・三七	三三・〇六	四二・二七	三二・八七
四五・八五	四六・六〇	五五・三三	五一・三五	四三・〇〇	四二・一六	一六・六九	四五・二八	五一・九七	四五・三七	三七・〇七
同	同	同	粘結セス	粘結セス	同	同	同	粘結セス	粘結セス	粘結セス
七・七〇	一〇・六四	一・一二	三・六七	一二・三八	七・四二	五四・九七	四・五五	五・三二	六・三九	二二・九一
淡褐	白	褐	淡褐	帶紫褐	淡褐	黝白	同	淡褐	同	黝白
〇・三六	〇・二二	〇・一七	〇・三六	一・九七	〇・二八	〇・一八	〇・二四	〇・三一	〇・四三	〇・二五
六六四四	六二〇四	六三八四	六七六九	六二二六	六二一五	二一〇二	五六二〇	五九八九	六五六五	五一五七
一・三三〇	一・三七八	一・三二四	一・三一四	一・二九一	一・三一九	一・九五六	一・三七六	一・三六一	一・三〇三	一・四五三

炭層並ニ 露頭番號	水 分	揮發物	固定炭素	骸炭ノ質	灰	灰ノ色	硫 黄	發熱量	比 重
II (31)	七・九六	三五・一九	五四・六〇	同	二・二五	同			一・三五八
I (28)	七・六一	三七・六六	四五・九六	粘結セス	八・七七	淡褐			一・三八八

(五) 「ソーウシュベツ」區域

		IX (18)	VIII (25)	VII (22)	VI (15)	V (12)
(23)	(11)	(18)	(25)	(22)	(15)	(12)
一〇・一〇	六・五〇	六・七五	五・〇五	八・四〇	九・五三	五・四五
二七・六四	三六・七六	三五・六九	三六・四八	三二・五五	三〇・二一	三六・七〇
三四・七二	四六・〇八	四〇・七五	四五・三九	五五・〇七	四九・八三	三八・八〇
同	同	同	同	同	同	同
二七・五四	一〇・六六	一六・八一	一三・〇八	三・九八	一〇・四三	一九・〇五
淡褐	黝褐	帶褐紫	同	同	淡褐	黝白
〇・三五	一・三七	二・三二	〇・四〇	〇・三八	〇・二八	〇・二一
四二〇四	六二一五	五七四〇	五九七二	六四八六	六〇二三	五五七一
一・五五〇	一・三七七	一・四〇八	一・四八二	一・三一九	一・四二六	一・三九八

炭層並ニ 露頭番號	水 分	揮發物	固定炭素	骸炭ノ質	灰	灰ノ色	硫 黄	發熱量	比 重
IV (10)	一〇・〇五	三〇・六九	四四・一三	同	一五・一三	淡褐	〇・五一	五四一三	一・四二〇
III (8)	一二・八五	三六・二四	四二・四九	同	八・四二	褐	〇・五六	五四六九	一・三八四
II (6)	六・八〇	四〇・七七	三六・四四	同	一五・九九	同	〇・二一	五四二四	一・三八六
I (3)	四・四五	二〇・三三	二〇・二八	粘結セス	五四・九四	白	〇・二九	二八七〇	一・八三一

(四) 「カムイハッタラ」區域

(219)	(218)	(217)	(216)	(150)
一三・〇〇	七・五五	八・二〇	九・〇〇	九・八〇
四〇・三七	三七・六二	三七・六七	三八・二七	三二・五四
三九・九七	四二・五三	五〇・二四	四八・三七	四八・五五
同	同	同	同	粘結セス
六・六六	一二・三〇	三・八九	四・三六	九・一一
黝白	同	黝褐	黄褐	褐
〇・二七	〇・二二	〇・二四	〇・二二	〇・五〇
五一三〇	五九七八	六三一七	六一八六	五六〇五
一・三六八	一・三八七	一・三二三	一・三一〇	一・三四二

(269)	(268)	(267)	(266)	(265)	(87)	(79)	(56)	(30)	VIII (81)	VII (69)
八・六三	五・七七	九・五四	六・四四	七・八六	七・五四	七・四七	八・九七	八・九七	六・七九	七・九二
三四・四六	五〇・〇一	三七・六五	三九・七六	三二・六七	三五・五五	三一・〇〇	三三・三四	三四・六九	四三・四七	四〇・八一
三七・〇四	三八・六五	三七・一五	四二・五一	三三・二一	四二・〇七	三五・七一	三六・四七	五四・三二	四二・四九	四九・九二
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一九・八七	五・五七	一五・六六	一一・二九	二六・二六	一四・八四	二五・八二	二一・二二	二・〇二	七・二五	一・三五
汚白	褐	淡褐	同	同	黝白	汚白	黝白	淡褐	同	褐
〇・二八	〇・二〇	〇・二五	〇・二〇	〇・五〇	〇・三九	〇・二四	〇・二〇		〇・一八	
一・四六七	一・三二八	一・四六八	一・三四八	一・六〇三	一・四四三	一・四八四	一・五四八	一・三二四	一・三一六	一・二九七

VI (63)	V (61)	XV (113)	XIV (111)	XIII (55)	IV (53)	XII (44)	XI (103)	X (101)	IX (39)	III (35)
四・八四	八・八二	六・九二	九・〇六	八・五六	八・六四	八・三一	七・八八	八・二四	八・九五	八・五七
四二・四一	三四・九一	三一・一五	三二・一〇	三四・四一	三四・五二	三三・六七	三四・八二	三五・〇一	四五・四〇	四四・四五
三九・二五	五二・八一	三五・〇二	五六・四二	五三・八九	五二・六五	三四・七四	四二・八〇	四二・七六	三〇・一五	四六・〇八
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	粘結セズ
一五・五〇	三・四六	二六・九一	二・四一	三・一四	四・一九	二三・二八	一四・五〇	一三・九九	一五・五〇	〇・九〇
同	淡褐	黝白	黝褐	同	同	淡褐	淡紫	同	同	淡褐
〇・二〇		〇・二八	〇・八〇			〇・三四	一・一三	〇・四二		
							五五八二			
一・四〇六	一・三六三	一・五九〇	一・三四八	一・三三九	一・三三八	一・五八九	一・五〇四	一・四五二	一・三三四	一・三六〇

(38)	(270)
六・八一	六・五四
三二・九一	三七・四九
三九・五九	四一・一九
同	粘結セス
二〇・六九	一四・七八
白	汚白
〇・二五	〇・七五
一・三七六	一・四〇六

(六) 鷺ノ巢澤區域

炭層並 = 露頭番號	水分	揮發物	固定炭素	粘炭ノ質	灰	灰ノ色	硫黄	發熱量	比重
I (239)	一三・一五	四三・〇五	三二・八六	粘結セス	一〇・九四	黝淡褐	〇・二九	四六四四	一・二三九
II (241)	七・六五	三一・九六	三三・四七	同	二六・九二	淡褐	〇・二七	四五三一	一・五五七
III (224)	九・六五	三五・六〇	四九・七一	同	五・〇四	同	〇・三五	六〇〇〇	一・二〇一
IV (247)	八・九〇	三一・七六	四〇・六三	同	一八・七一	同	〇・二四	四九一五	一・四九二
(249)	一五・七五	三三・九四	四〇・五六	同	九・七五	同	〇・五二	四五三一	一・二七〇
VI (254)	一〇・一五	三六・九七	四七・七三	同	五・一五	褐	〇・二七	六〇三四	一・三四一
VII (257)	八・三五	三六・一二	四三・四八	同	一二・〇五	淡黄	〇・四九	五八九九	一・三六八

VIII (259)	一一・七五	三四・六八	三八・〇〇	同	一五・五七	暗褐	〇・二〇	四六八九	一・五八二
------------	-------	-------	-------	---	-------	----	------	------	-------

大塚澤附近ノ露頭

露頭番號	水分	揮發物	固定炭素	粘炭ノ質	灰	灰ノ色	硫黄	發熱量	比重
(262)	一〇・三五	四二・四二	四六・二一	粘結セス	一・〇二	淡褐	〇・三五	五九八九	一・三一二
(263)	一二・〇〇	三八・〇四	四七・三七	同	二・五九	同	〇・二四	五三一	一・三七六

炭量 炭量ハ次ノ如キ條項ヲ基礎トシテ之ヲ概算セリ

- (一) 石炭六尺立方ノ重量ヲ八噸トス
- (二) 炭量ハ海水準面下千尺迄ノ採炭部ノミヲ計算セリ
- (三) 炭層ノ延長ハ主ニ露頭ノ追跡シ得タル範圍ヲ限度トシタレトモ其内數炭層ハ推定ニヨリテ計算セルモノアリ、ソノウシユベツ「區域ニ於ケルモノハ特ニ實測シタルトコロト推定ノ箇處トヲ分チテ計算セリ
- (四) 斷層及地層ノ褶曲ニ依リテ炭層ノ走向ノ轉位シタルモノハ之ヲ計算セ

ス、即「サンケシヨーマブ」下流區域ハ炭層ノ擾亂甚シキヲ以テ炭量ノ計算ヨリ之ヲ省キタリ

「カムイハッタラ」區域ニ於テハ「カムイハッタラ」斷層ヲ直立ニ近キモノト假定シテ計算セリ

(五) 數炭層接近シテ賦存セル場合ニハ其平均傾斜角度ニヨリテ計算セリ

以上ノ條項ニ基キテ計算シ得タル炭量概算次ノ如シ

(一) 「サンバラマブ」區域

炭層番號	探炭部平均厚(尺)	海水準以上炭量(噸)	海水準以下千尺迄炭量(噸)	炭量合計(噸)
I	一・六	二八、〇〇〇	三三、二〇〇	六一、二〇〇
II	五・一	一、〇三二、六五六	一三、八七二、六四〇	一四、九〇五、二九六
合計		一、〇六〇、六五六	一三、九〇五、八四〇	一四、九六六、四九六

(二) 「サンケシヨーマブ」上流區域

炭層番號	探炭部平均厚(尺)	海水準以上炭量(噸)	海水準以下千尺迄炭量(噸)	炭量合計(噸)
I	四・〇	四、八九六	一一二、四〇〇	一二七、二九六
II	三・五	二四一、一一二	五六二、五六〇	八〇三、六七二
III	六・一	四一、七五二	一〇二、四〇〇	一四四、一五二
IV	五・五	四一三、六〇〇	八二七、〇四〇	一二四〇、六四〇
V	一二・〇	一八六、六六四	四三五、六〇〇	六二二、二六四
VI	一・八	一七六、〇〇〇	三〇八、〇〇〇	四八四、〇〇〇
合計		一、〇六四、〇二四	二、三五八、〇〇〇	三、四二二、〇二四

(三) 「カムイハッタラ」區域

炭層番號	探炭部平均厚(尺)	海水準以上炭量(噸)	海水準以下千尺迄炭量(噸)	炭量合計(噸)
I	六・〇	一〇四、八〇〇	一、〇三四、八〇〇	一一三九、六〇〇

XII	XI	X	IX	III	II	I
五・四	一四・〇	一・八	二〇・八	七・四	一〇・九	三・四
一一六、二八〇	四三五、五五二	二八、〇〇〇	(六四七、二〇〇)	一、三六七、五二〇 (六三三、一一二)	(一、四六三、七九二) 一、五二五、六一六	六一四、一一二 (三〇七、〇五六)
二五二、〇〇〇	一、〇八九、六〇〇	五六、〇〇〇	(一、二九四、二一六)	二、〇七二、三五二 (九六〇、〇〇〇)	二、一四七、七〇四 (二、一〇〇、〇七二)	八四六、二一六 (四七六、〇〇〇)
三六八、二八〇	一、五二五、一五二	八四、〇〇〇	(一、九四一、四一六)	三、四三九、八七二 (一、五九三、一一二)	三、六七三、三二〇 (三、五六三、八六四)	一、四六〇、三二八 (七八三、〇五六)
			四、五二九、七六八			

(四) 「ソーウシユベツ」区域

炭層番號	探炭部平均厚(尺)	海水準以上炭量(噸) 括弧内ハ推定炭層ノ炭量	海水準以下千尺迄炭量(噸) 括弧内ハ推定炭層ノ炭量	炭量合計(噸) 括弧内ハ推定炭層ノ炭量
合 計	四・〇	九七二、五六〇	四、五四三、〇四〇	五、五一五、六〇〇
IX		四一、四八〇	一八三、一二〇	二二四、六〇〇
VIII	二・五	一一、六〇八	二六九、八四〇	二八一、四四八
VII	七・四	二一、九二〇	六〇五、〇四〇	六二六、九六〇
VI	四・八	一五四、八四〇	四〇八、一六〇	五六三、〇〇〇
V	一〇・〇	二二一、四八〇	四二五、一二〇	六四六、六〇〇
IV	一・四	五五、四五六	一四一、九二〇	一九七、三七六
III	三・五	七〇、九七六	二一九、〇四〇	二九〇、〇一六
II	一四・五	二九〇、〇〇〇	一、二五六、〇〇〇	一、五四六、〇〇〇

	VIII	VII	VI	V	XIII	IV
計	五・八	二・三	二・三	六・三	一〇・〇	六・八
	(五二六、二九六)	(一三八、〇〇〇)	(一八九、〇〇〇)	(七八八、八〇〇)	三五、二一六	(七一三、七六〇)
	八二七、〇四〇	三四八、九六〇	二七二、五六〇	一、〇三二、〇〇〇		一、〇三二、〇〇〇
	(一、〇五二、五九二)	八二二、八八八	五二四、七三六	(一、六九八、六六四)	八八、一六〇	(一、五三七、三〇四)
	一、六五四、〇八〇	(三二二、〇〇〇)	(四二九、三二八)	二、二二一、三二八		二、二二一、三二八
	(一、五七八、八八八)	一、一七一、八四八	(六一八、三二八)	三、二五三、三二八	一二三、四一六	三、二五三、三二八
	二、四八一、一二〇	(四六〇、〇〇〇)	七九七、二九六	(二、四八七、四六四)		(二、二五一、〇六四)

合	計
	九、一四四、八一六
	(五、四〇七、〇一六)
	一七、〇一六、二四〇
	(九、八七〇、一七六)
	二六、一六一、〇五六
	(一五、二七七、一九二)

(五) 鷺ノ巢澤區域

炭層番號	探炭部平均厚(尺)	海水準以上炭量(噸)	海水準以下千尺迄炭量(噸)	炭量合計(噸)
II	九・五	五一、七二八	三二〇、一六〇	三七一、八八八
III	七・七	二六、九六〇	一六六、八〇〇	一九三、七六〇
V	二・〇	一二、四四〇	一一五、五二〇	一二七、九六〇
VI	三・四	三二、一一二	二四五、六〇〇	二七七、七一二
VIII	五・四	一五、〇四〇	六五、〇〇〇	八〇、〇四〇
合計		一三八、二八〇	九一三、〇八〇	一、〇五一、三六〇

區域名	海水準以上ノ炭量(噸)	海水準以下千尺迄炭量(噸)	炭量合計(噸)
「サラバラマブ」區域	一、〇六〇、六五六	一三、九〇五、八四〇	一四、九六六、四九六
「サンケシヨーマブ」 上流區域	一、〇六四、〇二四	二、三五八、〇〇〇	三、四二二、〇二四
「カムイハッタラ」區域	九七二、五六〇	四、五四三、〇四〇	五、五一五、六〇〇
「ソウウシユベツ」區域	九、一四四、八一六	一七、〇一六、二四〇	二六、一六一、〇五六
鷲ノ巢澤區域	一三八、二八〇	九一三、〇八〇	一、〇五一、三六〇
合計	一二、三八〇、三三六	三八、七三六、二〇〇	五一、一一六、五三六

第六章 結 章

調査區域ハ天鹽國留萌郡小平藥村内ニ在リテ小平藥川ノ北ニ位シ小平藥川ヲ隔テ、小平藥川南部炭田ニ接續ス
地質ハ中生代以後ノ水成岩ニシテ一般ニ東西ニ近キ層向ヲ示シ數條ノ斷層ニ切

斷セラル

石炭ヲ埋藏スル地層ハ調査區域内第三紀最下部ニ位スル砂岩頁岩互層ニシテ六區域ニ現出スルコト次ノ如シ

- (一)「サンバラマブ」區域ニ於テハ三炭層アリテ其内概算シ得タル炭量ハ海水準以上約百六萬噸、海水準以下千尺迄約千三百九十萬噸アリ、其内第二番層ハ炭量多ク炭質良好ナリ
- (二)「サンケシヨーマブ」上流區域ニ於テハ六炭層アリ、其炭量ハ海水準以上約百六萬噸、海水準以下千尺迄約二百三十六萬噸アリ、其内第四番層及第五番層ハ炭量多ク炭質良好ナリ
- (三)「サンケシヨーマブ」下流區域ニ於テハ二十六炭層アレトモ地層擾亂シテ炭量ヲ計算スルコト困難ナリ、第七番層及第IV番層ハ炭質良好ナリ
- (四)「カムイハッタラ」區域ニ於テハ九炭層アリ、其炭量ハ海水準以上約九十七萬噸、海水準以下千尺迄約四百五十萬噸アリ、其内第七番層ハ炭質良好ナリ
- (五)「ソウウシユベツ」區域ニ於テハ十五炭層アリ、其内概算シ得タル炭量ハ海水準以

上約九百十萬噸、海水準以下千尺迄約千七百萬噸アリ、其内第四番層及第五番層ハ炭量多ク炭質良好ナリ

(六) 鷺ノ巢澤區域ニ於テハ八炭層アリ、其内概算シ得タル炭量ハ海水準以上約十四萬噸、海水準以下千尺迄約九十一萬噸アリ、其内第三番層ハ炭質良好ナリ
以上概算シ得タル總炭量ハ大約五千萬噸ナリ

石炭ハ普通黒色ニシテ樹脂光澤ヲ有シ斷口ハ屢介殼狀ヲ呈シ粉炭トナリ易シ、本所分析係ノ施行セル分析試験ノ結果ニ依レハ一般ニ不粘結性ナルモ稀ニ稍粘結スルモノアリ、揮發物ハ百分中三十六内外、固定炭素ハ百分中四十二内外ヲ普通トス、硫黄分ハ少ナク百分中一以上ノモノ稀ナリ、發熱量ハ平均五千七百ヲ普通トス、即チ本炭田ニ産スル石炭ハ主ニ低度瀝青炭ニ屬スヘキモノナリ
石炭賦存區域附近ハ地勢峻嶮ナラス、交通ノ便ハ良好ナリト稱シ難キモ、サンバラマブ區域ヲ除ク外ハ比較的車道ニ近ク五里乃至十里ニシテ留萌驛ニ達スルヲ得ヘシ、尙目下留萌驛ヨリ羽幌ニ達スル鐵道布設ノ途ニアレハ該線開通ノ曉ニハ交通更ニ便利トナリ小平藥川南部炭田ト共ニ開發セラルヘシト信ス

大正十四年八月二十五日印刷
大正十四年八月二十八日發行

定價金貳圓參拾八錢

著作權所有 商 工 省

印刷者 東京市日本橋區兜町二番地 神谷岩次郎

印刷所 東京市日本橋區兜町二番地 東京印刷株式會社

發賣所 東京市日本橋區兜町二番地 東京印刷株式會社

發賣所 東京市日本橋區通三丁目 丸善株式會社
振替口座東京五番

IMPERIAL GEOLOGICAL SURVEY OF JAPAN

MINERAL SURVEY REPORT

No. 35



CONTENTS

	Page
Geology of the Northern Part of the Opirashibe-gawa Coal Field in the Province of Teshio; By Hyokichi Rokkaku, Geologist	1

10

IMPERIAL
GEOLOGICAL SURVEY
OF
JAPAN

MINERAL SURVEY REPORT

No. 35

TOKYO 1924

終